

淑徳大学アジア国際社会福祉研究所 第9回国際学術フォーラム

仏教ソーシャルワーク探求の旅、その先へ
～なぜ世界は仏教ソーシャルワークを
無視できないのか～

仏教ソーシャルワークと国際ソーシャルワーク研究の交差による
新しいソーシャルワーク研究ステージ確立に向けた第一歩

2025年2月15日(土)

午前10時～午後4時半

場所：淑徳大学東京キャンパス9号館にて

対象：社会福祉(ソーシャルワーク)研究者・教員・仏教関係者
学生もご参加いただけます

* オンライン配信あり(ZOOM)

* 日英同時通訳付き・参加費無料

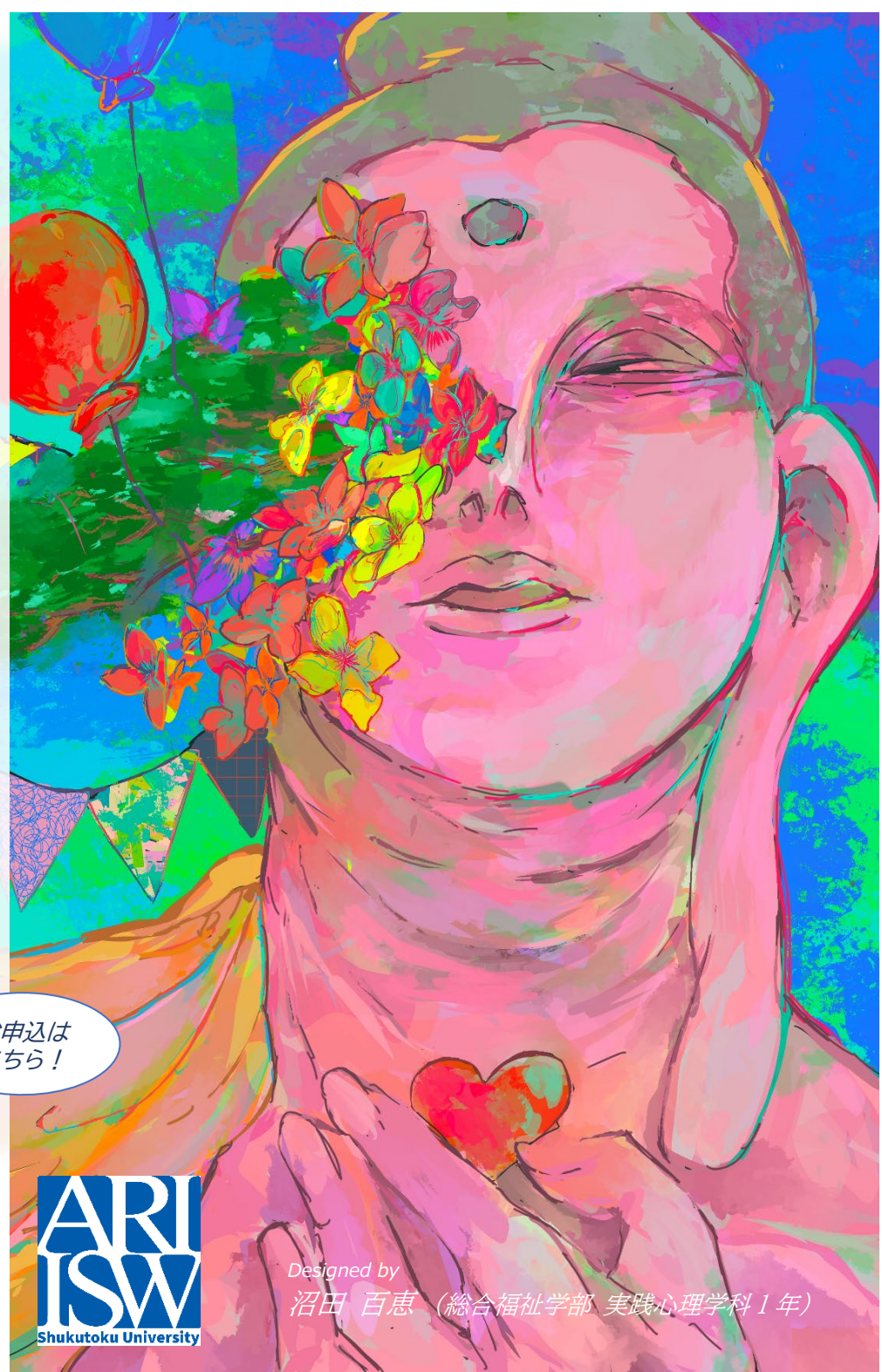
後援：日本ソーシャルワーク教育学校連盟 日本ソーシャルワーク学会 日本社会福祉学会
日本社会福祉教育学会 日本仏教社会福祉学会
主催：淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所 Email: asiainst@soc.shukutoku.ac.jp



お申込は
こちら!



Designed by
沼田 百恵 (総合福祉学部 実践心理学科1年)



アジア仏教社会福祉学術交流センターでは、2014年の開設当初から「仏教ソーシャルワーク」研究に取り組んで来ました。



文科省戦略的研究基盤形成支援事業の採択を受けた「アジアのソーシャルワークにおける仏教の可能性に関する総合的研究」により、仏教徒が人口の多くを占めるアジアの国々に対するフィールド調査や共同研究を精力的に行った成果として、2018年より刊行を開始した「仏教ソーシャルワークの探求」研究シリーズ 和文・英文 全 11 巻が、2024年3月完結しました。本研究が行ってきた、アジア各地で実践されている様々な僧院、僧侶・尼僧、仏教徒が実践している活動の学び、「アジア仏教ソーシャルワーク」共通の定義のモデル化や作業定義の議論、これらは「ソーシャルワークとは何か」という根源的な問いにも大きな示唆を与えるテーマであると考えます。

また、現在 ソーシャルワークと社会開発のためのグローバル・アジェンダ・プロジェクト(2020年～2030年)を主導する国際ソーシャルワーク学校連盟(IASSW)元会長アベ・タッセ先生を迎え、アジアの「仏教」、「社会福祉(ソーシャルワーク)」、そして「仏教ソーシャルワーク」を、世界はどのように捉えているのか、IASSWをリードしたご経験を踏まえて語っていただきます。



基調講演: アベ・タッセ (Tassé Abye) 教授

国際ソーシャルワーク学校連盟(IASSW)元会長

現在 国際ソーシャルワーク学校連盟、国際社会福祉協議会、国際ソーシャルワーカー連盟を代表し グローバル・アジェンダ・プロジェクト(2020年～2030年)を主導

*BSWの研究プロジェクトはこれまで何を見て、そしてまだ何が見えていないのか？
なぜ世界は、このような小さな研究所が主導する始まったばかりの
BSWの研究を無視できないのか？*

フォーラムでは、仏教ソーシャルワーク研究の方向性や課題について参加者の皆さまとともに考えます。

仏教と社会福祉の実践や理論、あるいは社会福祉における多様性や国際社会福祉を研究テーマとされている方、また「仏教ソーシャルワーク」というキーワードに関心のある方、そして何より、「社会福祉とは何か」について思い巡らせた事のある全ての皆様のご参加をお待ちしています。

淑徳大学東京キャンパス: <https://www.shukutoku.ac.jp/access/tokyo/>
参加申込はこちらから: <https://forms.gle/VJHakcp6bAdvYV8s6>
連絡先: 淑徳大学アジア国際社会福祉研究所

タイムスケジュール(予定)	
10:00	開会・趣旨説明
11:00	「国際ソーシャルワークの脱グローバル化」 基調講演：アベ・タッセ
12:30	休憩
1:30	・仏教ソーシャルワーク研究で見えてきたこと/未だ見えないこと ・仏教が温めてきた知見 ・ディスカッション
3:45	ラウンドアップ
4:00	閉会

